

事業計画書

事業名	性的少数者への理解を深め、地域での居場所を作るための事業
場所	沼津市内全域
実施予定期間	平成29年 7月 3日 ~ 平成30年 3月31日
日程	実施項目・作業項目
	<p>本事業は、孤立しがちな性的少数者の社会における認知・理解を高める「講演会の開催」や「プライドパレード」等のイベント開催に向けた「調査・準備」の2事業により構成しています。</p> <p>1 「講演会の開催」</p> <p>性的少数者に対しては、少しずつ認知されつつあるものの、まだまだ社会・職場等での理解が低く、当事者が社会生活の様々な場面で偏見や差別にさらされるといった状況が見受けられているため、性的マイノリティへの理解を求める市民向けの講演会を開催する。</p> <p>開催予定 平成30年2月ごろ 開催場所 プラザヴェルデ を予定 講師 ライター・NPO 法人パープルハンズ事務局 永易 至文氏 を予定</p> <p>2 「イベント開催に向けた調査研究事業」</p> <p>大都市では、性的少数者が、差別や偏見にさらされず、前向きに生活できる社会の実現を目指したイベント（東京レインボープライド等のプライドパレード）が開催されているものの、地方においてはまだまだ発展途上の状況である。</p> <p>そのため、将来的に沼津市を舞台としたイベントが開催できるよう、調査研究を進めるとともに、運営スタッフ・スポンサー等を確保するための準備を進める。（イベント視察・実践者から運営方法等の聴取、協力者の確保）</p>
事業効果	<p>「性的少数者」の孤立化については、大都市では社会的な問題として理解されてきているものの、沼津市においては理解度が低い状況です。</p> <p>そのため、当法人が主体となり、ボランティアや福祉団体、企業等の協力を得て、「性的少数者」が地域社会に参画していくためのきっかけづくりを進めていく事業を実施するものです。</p> <p>同事業の実施により、市民理解を深めるとともに、当事者や社会の抱える課題とニーズの拾い上げを行いながら多様な属性による住民一人一人が、地域社会とのつながりを意識し協調していくことにより、信頼、協力、交流、支えあいが生まれ、更なる地域力の活性化が期待できるものと考えます。</p>

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

<p>公益性</p>	<p>国では、平成16年に「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」を施行し、性的少数者の社会的な不利益解消に取り組んでいます。</p> <p>沼津市では、「第4次男女共同参画基本計画」において、性的マイノリティについての理解・尊重のための学習機会の提供や啓発に努めるとしており、本事業の趣旨は、国・市の施策に沿った公益性があるものと考えます。</p> <p>また、沼津市においても潜在的に性的少数者がいると考えられており、当団体が顕在化することで問題を抱える当事者へ情報提供やネットワーク構築が行えるものと考えます。</p>
<p>発展性</p>	<p>同様の問題を抱える人のネットワークを構築することにより、最初は小規模のグループではあるが理解者の確保・拡大につなげていくことができると考えます。</p> <p>またさまざまな年代にもアプローチすることにより、当事者や理解者の拡大につながります。</p> <p>将来的には、東京レインボープライド（啓発周知のパレード&イベント）のような事業を、沼津を舞台に開催できるよう事業の拡大と支援者の拡大に努めていきたい。</p>
<p>地域性</p>	<p>地域住民をはじめ、市内の多様な団体と主体的に連携に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三地区自治会 ・ サンウェルぬまづ ボランティア ・ 清水町の当事者団体「レインボードア」 ・ 静岡市の当事者団体「GID しずおか」 ・ 静岡市の当事者団体「BEBEC」 ・ 浜松市の当事者団体「NPO 法人にじいろ安場」
<p>必要性</p>	<p>現在のところ、「性的少数者」の問題については、地方に行くほど取り組む者が少なく放置されています。</p> <p>またその中でも中高年のおひとりさま問題は喫緊の課題と考えます。</p> <p>さらに、同問題については行政等の支援制度も充実していないことから、民間が主導となって対応していくしかないのが現状です。</p> <p>今回は、同問題に対する理解者・協力者を把握し、更なる事業の活性化を図るために必要な準備段階の事業であり、行政の施策が及ばない部分を充足するために必要な事業であると考えます。</p>
<p>先導性</p>	<p>沼津市において、性的少数者の当事者団体は唯一であり、「性的少数者」をはじめとする単身者、「おひとりさま問題」に取り組んでいる事例は、県内では当団体が初めてであり、性的少数者の地域社会への参画を進めるシステム作りが期待できる。</p>
<p>継続性</p>	<p>今年度はネットワークの構築、地域社会の理解を得るための取り組みを進め、理解者・協力者を増やしていくことにより、同事業を進めていく上での人的・資金的な課題をクリアしていきたい。</p>